

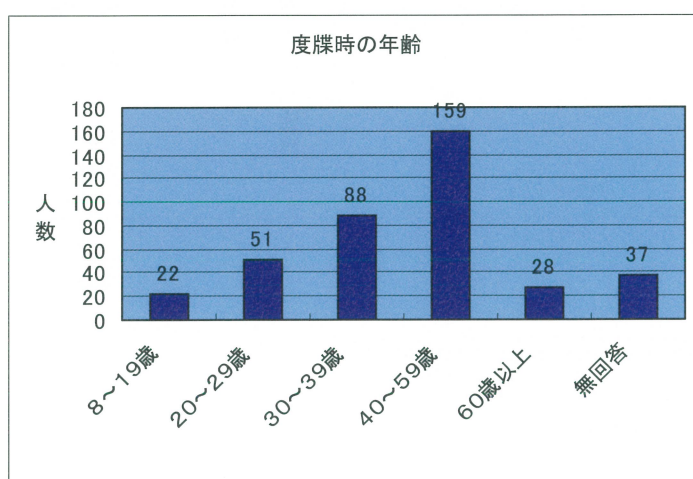
第1章 女性教師の発心と修行（信行道場）

第1節 出家時の状況

1) 度牒時の年齢

【 熟女の心意気 】

30代前後～50代が中心です。とくに40～59歳代が突出して多く、41.3%です。女性の場合は、結婚・子育てを経て発心するケースが多いと思われます。女性の発願年齢の高いことが現れています。



2) 出家の動機（複数回答）

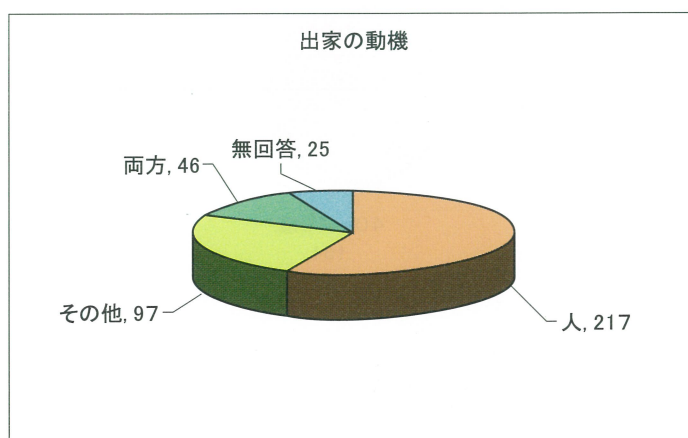
人（父母、夫など）・・・56.4%

その他（本、病気など）・・・25.2%

両方・・・11.9%

【 けなげな女性教師 】

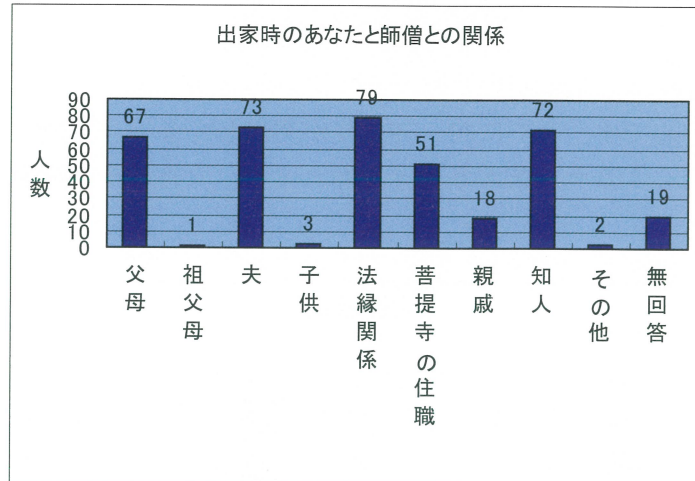
なかでも、「夫の手助けをしたい」というコメントが目立ちました。



3) 出家時のあなたと師僧との関係は

【 寺族が頑張っています 】

寺族（父母・祖父母・夫・子供）が約37%で、その中の約半数の方が「夫が師僧」と答えています。

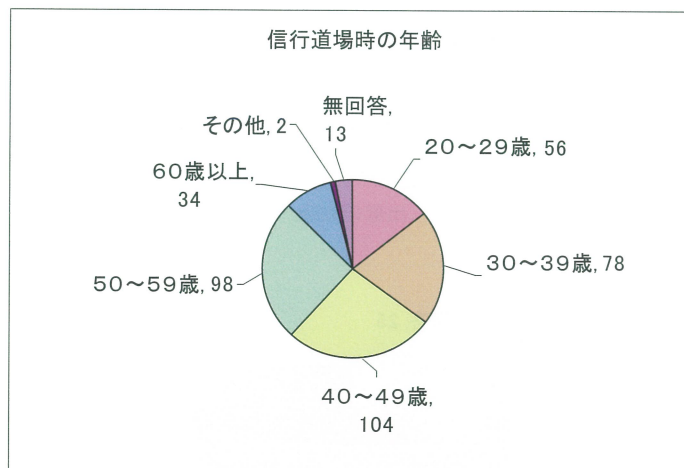


第2節 信行道場入場時の状況

1) 信行道場入場時の年齢

【 道場では30歳代だって若手 】

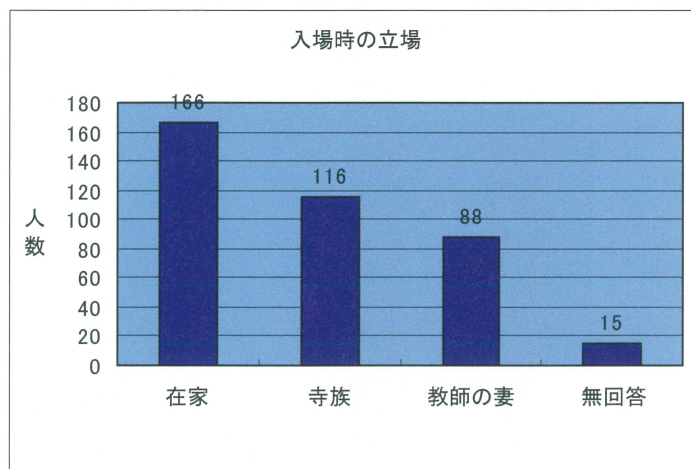
ここでも年齢の高さが目立ちます。40歳代が27.0%、50歳代が25.5%、30歳代が20.3%で30歳代～50歳代が中心です。年齢から見てもわかるように、最初から教師を目指している人は少なく、途中から様々な理由で教師になっている人が多いようです。



2) 信行道場入場時の立場

【 在家の人も頑張っています 】

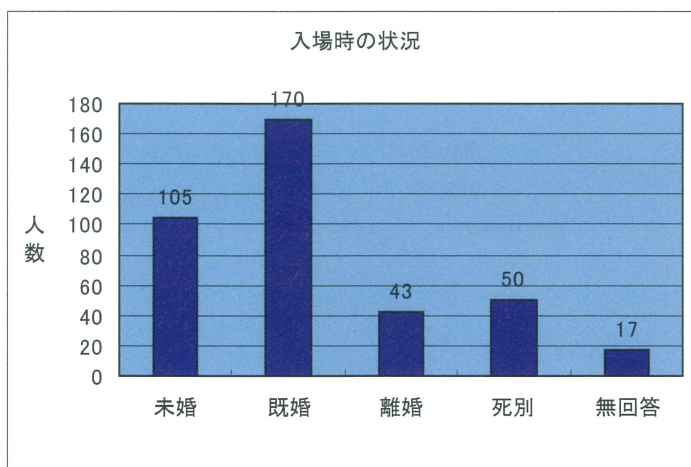
寺族と教師の妻を合わせると204人で、約5割（53%）の方が寺院関係者ですが、在家の方も166人で、約4割（43.1%）もいます。第2章第1節の（3）「現在生計を立てている主な収入」で「お寺以外の収入で生計を立てている人」が約4割もいることに関連していると思います。また、（2）「現在の立場」で、約1割にあたる「現在何もしていない人」に在家出身の方が多いことにも関連しています。在家出身の方が道場修了後、仕事の場が恵まれていない現状が推察されます。



3) 信行道場入場時の状況

【 人生経験豊かです。いろいろドラマがありました 】

既婚・離婚・死別の方が68.3%になることから、設問1-3（第1章第1節（1））「度牒時の年齢」が高い理由の裏付けになっています。

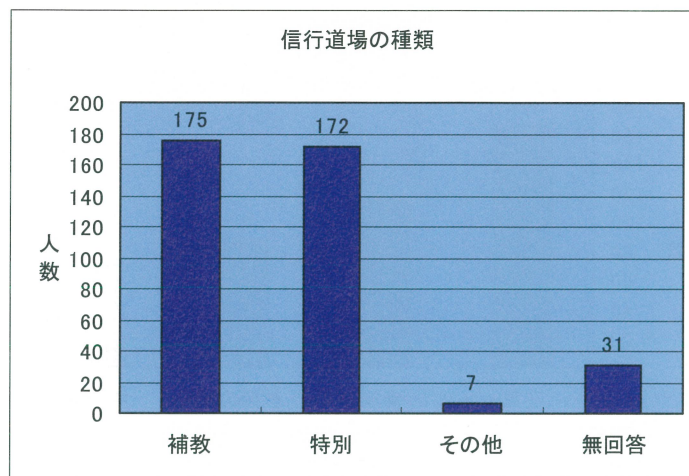


4) 信行道場の種類

【 補教も大活躍 】

補教と特別とほぼ同数であることを見ても、有髪の方も剃髪の方もほぼ同数が教師として活躍していることとなります。

有髪・剃髪については賛否両論でした。例としては、「僧侶としての質の統一を図るためにも特別信行道場のみにし、剃髪・無化粧にすべき」という意見と、「女性の場合、剃髪では一般社会に受け入れられにくく、社会活動がしにくい」「補教信行道場は寺庭婦人の基礎教育の場として大切」などの意見がありました。



5) 信行道場入場の動機

【 私がお寺を守るわ 】

約半数の人が、お寺を守るために入場しています。住職の手助けが22.1%、寺の後継が21.8%と合わせると、43.9%の人がお寺を守るために教師を目指しています。しかし自分の修行のためも24.9%、布教の為も15.8%と、多数います。

